

## 仕 様 書

- 1 工 事 名 消防本部 庁舎北・東側外壁、車庫及びその他修繕工事
- 2 工事場所 茨城県筑西市直井 1 0 7 6 番地  
筑西広域市町村圏事務組合消防本部
- 3 工事期間 契約締結の翌日から令和 7 年 3 月 1 4 日まで
- 4 施工範囲 庁舎北・東側外壁、車庫、その他部分（別紙図面、写真参照）
- 5 工事内容 塗装、防水、シーリング工事

### 【直接仮設工事】

外部足場、倉庫部足場、壁面足場、ハネ出しブラケット足場、内巾木、登り階段、メッシュシート、落下防止用親綱（材工共）、作業用足場、仮囲い、仮設トイレの設置。（その他別紙内訳書参照）

### 【石綿含有分析調査】

2022 年 4 月 1 日より石綿含有事前調査の報告が義務化となったため、既設の塗装範囲の石綿含有分析調査及び報告を必ず行うこと。調査範囲は既存ウレタン塗膜防水層、RC 庇塗装部分。  
また、調査により含有が認められた際の措置等については石綿障害予防規則に従い対応し、その際の処分費等にあつては甲乙協議により、取り決めるものとする。

### 【塗装工事】

- ① 塗装工事範囲（タイル面共）の高圧水洗浄を実施すること。  
（別紙写真参照）
- ② 唐草部分はケレン、変性エポキシ錆止め、耐候性塗料（DP）又は同等品以上を塗布すること。（別紙写真参照）  
工法は鉄鋼面耐候性塗料塗り又は同等以上の工法とする。
- ③ 庇裏 PC、3 階窓下、2 階窓上、2 階窓下部分は耐候性塗料

(DP) 又は同等品以上を塗布すること。(別紙写真参照)

工法はコンクリート面及び押出成形セメント板面耐候性塗料塗り又は同等以上の工法とする。

④ 軒天部分は水性アクリル樹脂塗料 (AEP) 又は同等品以上を塗布すること。(別紙写真参照)

⑤ 丸柱部分はケレン、変性エポキシ錆止め、耐候性塗料 (DP) 又は同等品以上を塗布すること。(別紙写真参照)  
工法は鉄鋼面耐候性塗料塗り又は同等以上の工法とする。

⑥ 屋上壁部分は微弾性フィラー、水性セラタイト F を塗布し、水性セラタイト F 仕上げ又は同等品、同等以上の仕上げとすること。(別紙写真参照)

⑦ 鋼製建具 (両面枠共) はケレン、変性エポキシ錆止め、耐候性塗料 (DP) 又は同等品以上を塗布すること。(別紙写真参照)  
工法は鉄鋼面耐候性塗料塗り又は同等以上の工法とする。

⑧ 車庫底、車庫下見切、車庫妻側壁、笠木部分はケレン、変性エポキシ錆止め、耐候性塗料 (DP) 又は同等品以上を塗布すること。(別紙写真参照) 工法は鉄鋼面耐候性塗料塗り又は同等以上の工法とする。

⑨ 車庫軒天部分は水性アクリル樹脂塗料 (AEP) 又は同等品以上を塗布すること。(別紙写真参照)

⑩ RC 庇上端壁部分は微弾性フィラー、水性セラタイト F を塗布し、水性セラタイト F 仕上げ又は同等品、同等以上の仕上げとすること。(別紙写真参照)

※高所作業車施工範囲の唐草部分、庇裏 PC 部分、3 階窓下部分、2 階窓下部分、軒天部分も上記②～④と同様の工事内容とする。  
また、屋上壁塗装部分一部ひび割れ箇所については、塗装工事前に U カットシーリング工法又は同等以上の工法にて補修すること。(別紙写真参照)

### 【防水工事（RC 庇）】

① 既存ドレンキャップを撤去し復旧すること。（別紙写真参照）

② 防水工事範囲の高圧水洗浄を実施すること。（別紙写真参照）

③ 平場、立上り、笠木部分はウレタン塗膜防水を実施すること。  
（別紙写真参照）

工法は密着工法又は同等以上の工法とする。

また、笠木部分の下地調整については、防水工事前にエキポシ樹脂モルタル薄塗りにて補修すること。（別紙写真参照）

### 【シーリング工事】

① タイル目地、土間目地、サッシ廻り、サッシ目地、ステンレス見切取合、軒天取合、庇目地、タイル取合、柱取合、パネル目地、笠木取合、防水立上り目地、板金取合、スリット目地、笠木ジョイント目地、板金ジョイント目地、庇平場目地、分電盤廻り、煙突廻り、アンダー笠木ジョイント目地シーリングの打替えを実施すること。（別紙写真参照）

シーリング材はペンギンシール（2成分形変成シリコーン）又は同等品以上のものとする。

※高所作業車施工範囲についても上記のとおり、同様の工事内容とする。

② 既存 PC 版タイル目地溶剤清掃を実施すること。（別紙写真参照）※目地が硬化していないため柔らかく油が浮いてるため溶剤で油を取ること。

### 6 使用材料の規格及び積算

搬入材料は、受注者に於いて現場を確認し使用材料及びその数量を算出すること。尚、材料は J I S 規格品（又は責任のとれる標準規格品）を使用すること。

7 責任施工 本工事は、すべて受注者の責任施工とする。

8 支給品 本工事に使用する電気、水は発注者が支給する。

9 提出書類 契約締結後、5 日以内に着工届・工程表・現場代理人届を、竣工

時には工事完成通知書及び写真（着工前、施工中、竣工の順でカラーとする。）を提出すること。尚、施工中に発生した産業廃棄物は、受注者の責任において適切に処分すること。

- 1 0 保 証      施工後に発生した材料及び施工の欠陥による故障は、筑西広域市町村圏事務組合財務等に関する規則において準用する、筑西市建設工事執行規則別紙（履行条項）に基づき、速やかに処理すること。
- 1 1 安全管理      受注者は、業務中の危険防止対策を充分行い、労働安全衛生法及びその他の法令等を厳守し、作業者への安全管理を徹底し労務災害発生の無いよう努めること。
- 1 2 その他      工事内容に疑義又は不都合が生じた場合は、甲、乙両者で協議するものとし、甲の指示に従い業務の進捗に支障をきたさないように配慮すること。また、本仕様書に定めのない事項については、必要に応じて甲乙協議により、取り決めるものとする。